



AUTO PIVOT

オートピボット

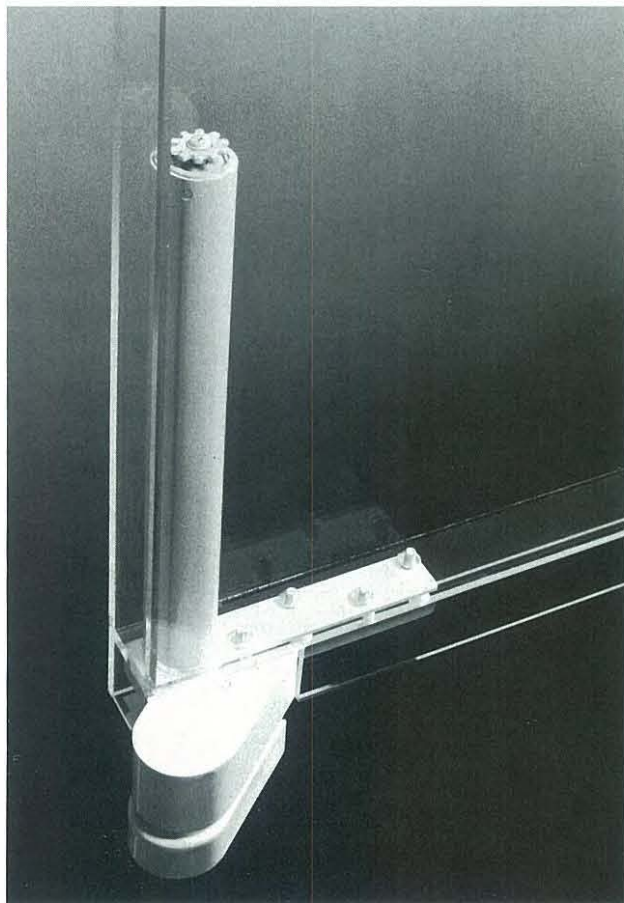
オート
ピボット

ド ア 開 閉 様 式	型 式	ストップ装置	頁
縦挿入型	MWAP-9NDBS	ストップ付	704
	MWAP-9NDB	ストップなし	701
沓摺差込型	MWAP-9NCS	ストップ付	705
	MWAP-9NC	ストップなし	702
沓摺差込型 (下枠同面)	MWAP-9NCTS	ストップ付	705
	MWAP-9NCT	ストップなし	702
縦挿取付型	MWAP-9NDS	ストップ付	706
	MWAP-9ND	ストップなし	703
空ヒンジ			707
ド ア 開 閉 様 式	型式(空ヒンジタイプ)	ストップ装置	頁
縦挿入型	MWP-9NDBS	ストップ付	704・707
	MWP-9NDB	ストップなし	701・707
沓摺差込型	MWP-9NCS	ストップ付	705・707
	MWP-9NC	ストップなし	702・707
沓摺差込型 (下枠同面)	MWP-9NCTS	ストップ付	705・707
	MWP-9NCT	ストップなし	702・707
縦挿取付型	MWP-9NDS	ストップ付	706・707
	MWP-9ND	ストップなし	703・707

AUTO PIVOT MWAP-9N オートピボット

あくまでシンプルに、あくまでスムーズに。

オート
ピボット



■シンプル設計です。

ドア面に見えるのは、ピボットヒンジのステンレスカバーだけ。又、自閉装置は全てドアに内蔵しております。

■取付け簡単なピボット方式。

特殊な切欠きは不要！取付けらくらく。ドアは、プリセット方式による簡単な吊り込み式です。

■精度が高く耐久性にすぐれています。

実績を誇るオートドアヒンジとピボットヒンジが見事に一体化。全く新しいピボットのかたちです。

■速度調節が簡単です。

すぐれた油圧機構が動きをよりスムーズにし、フロア、枠、扉の形状に対応できる部品も豊富に揃っています。

■ストップ装置付もあります。

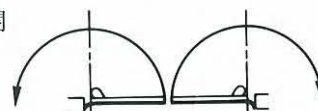
安定した停止力を発揮するストップ装置付、必要に応じて、ストップ機能の切替えもワンタッチ。

■規格

●最大開扉角度

持出吊180°

右または左開



●取付方法

ピボット方式

●ドア種類

アルミドア・スチールドア

ステンレスドア

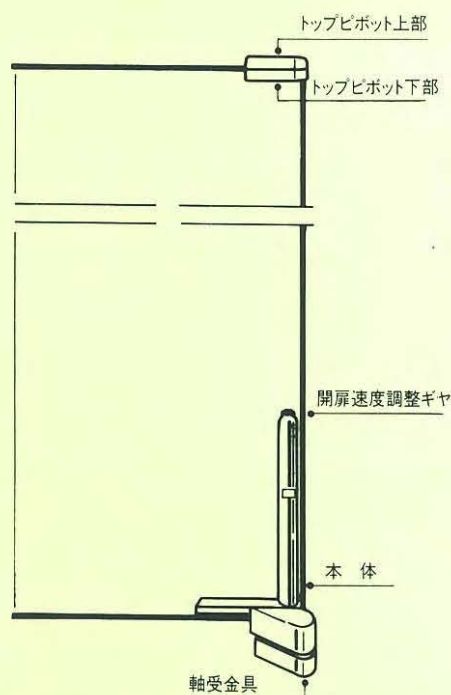
●適用ドア(幅×高×厚)

(約)900×2,100×40mm

●重量

70kg

●開扉角度180°(片側開き)



MWAP-9NDB 縦枠埋込型

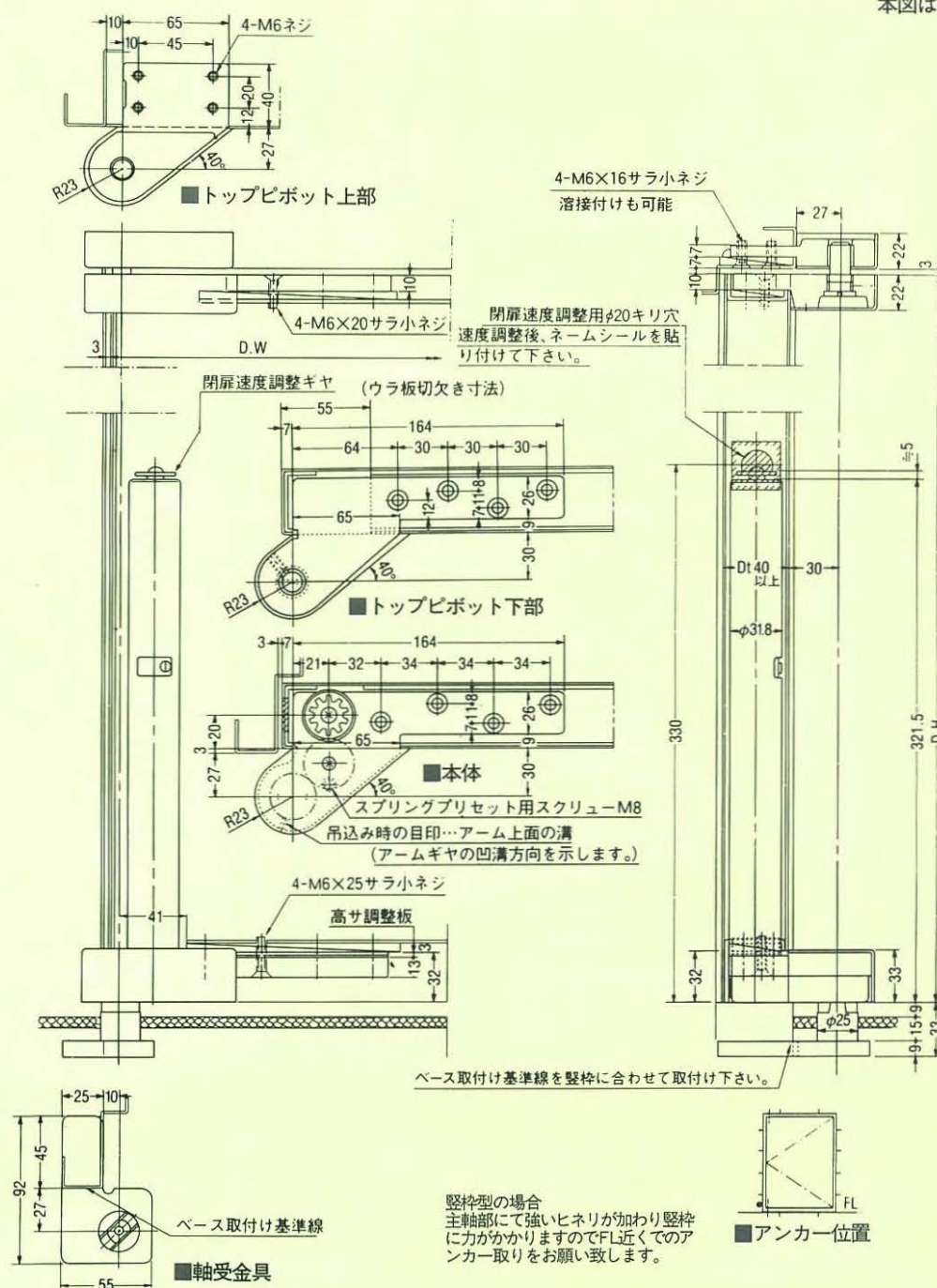
■持出吊/180°一方開

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9NDB	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	なし

左開き (L) 右開き (R)

MWAP-9NDB

本図は右開きを示す



MWAP-9NC/MWAP-9NCT 沓摺差込型

■持出吊/180°一方開

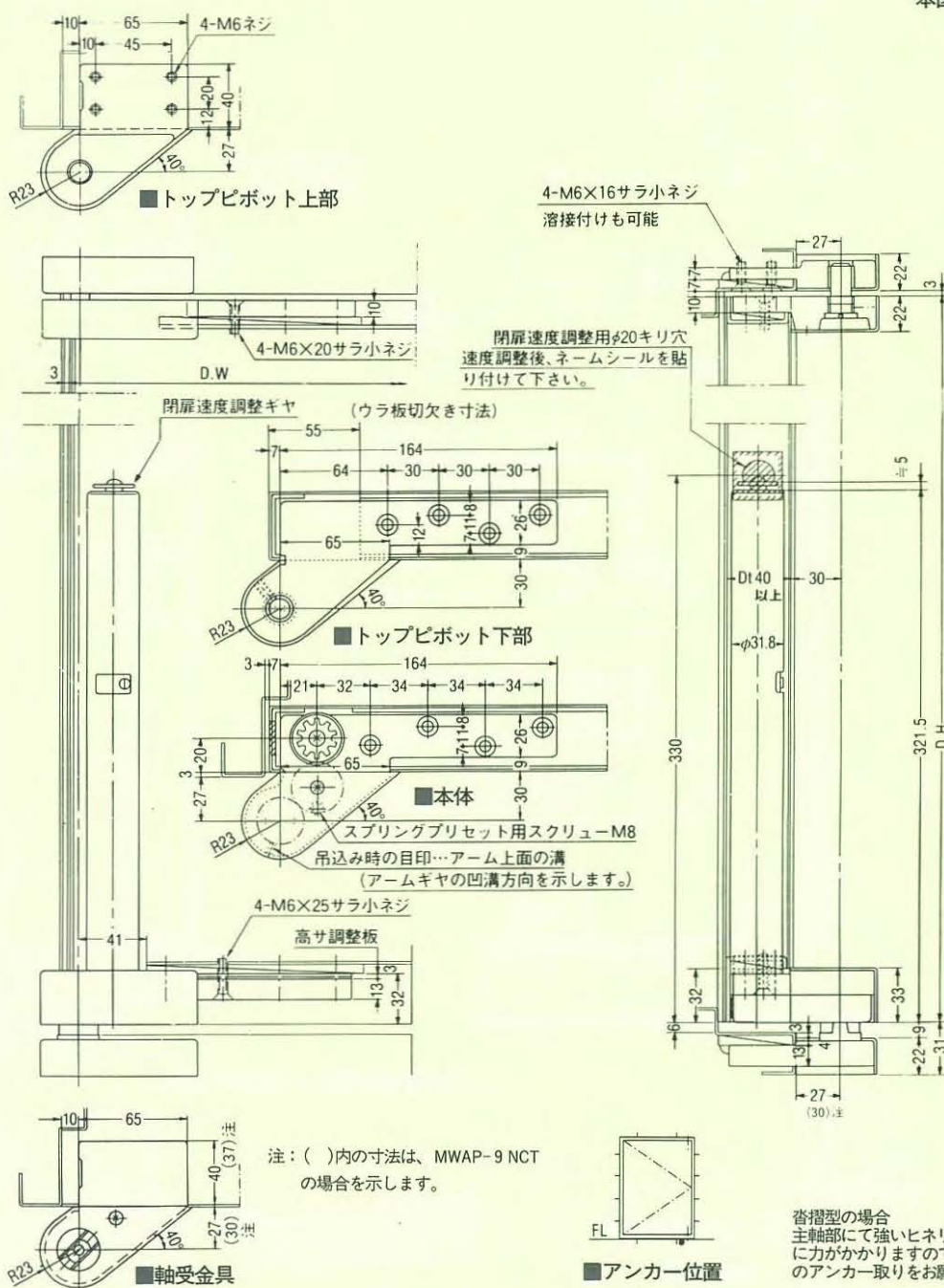
MWAP-9NC/
MWAP-9NCT

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9NC MWAP-9NCT	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	なし

左開き (L) 右開き (R)



本図は右開きを示す



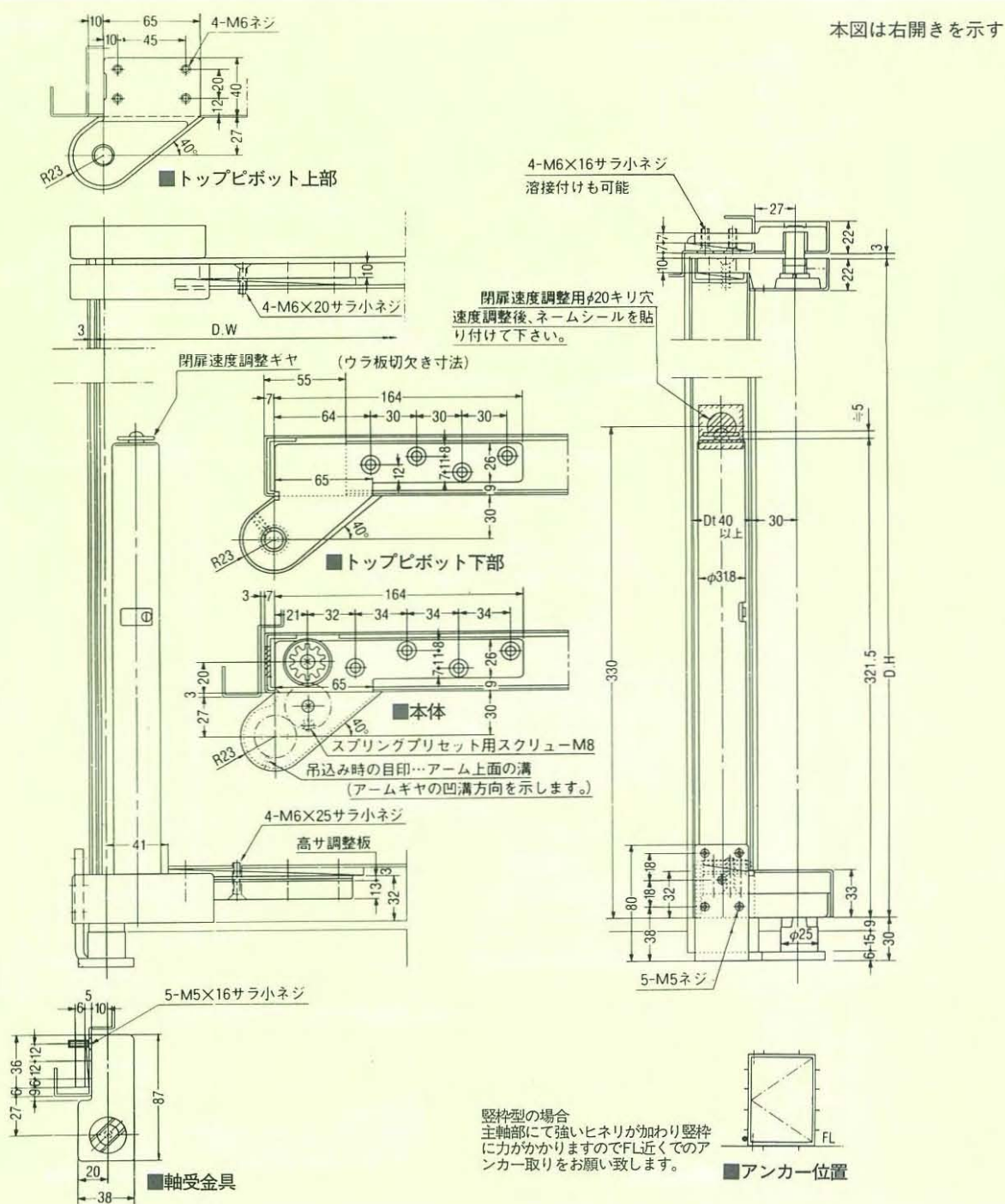
MWAP-9ND 堅枠取付型

■持出吊/180°一方開

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9ND	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	なし

左開き(L) 右開き(R)

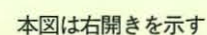
MWAP-9ND



豎杵埋込型

MWAP-
9NDBS

左開き(L) 右開き(R)



MWAP-9NCS/MWAP-9NCTS 沓摺差込型

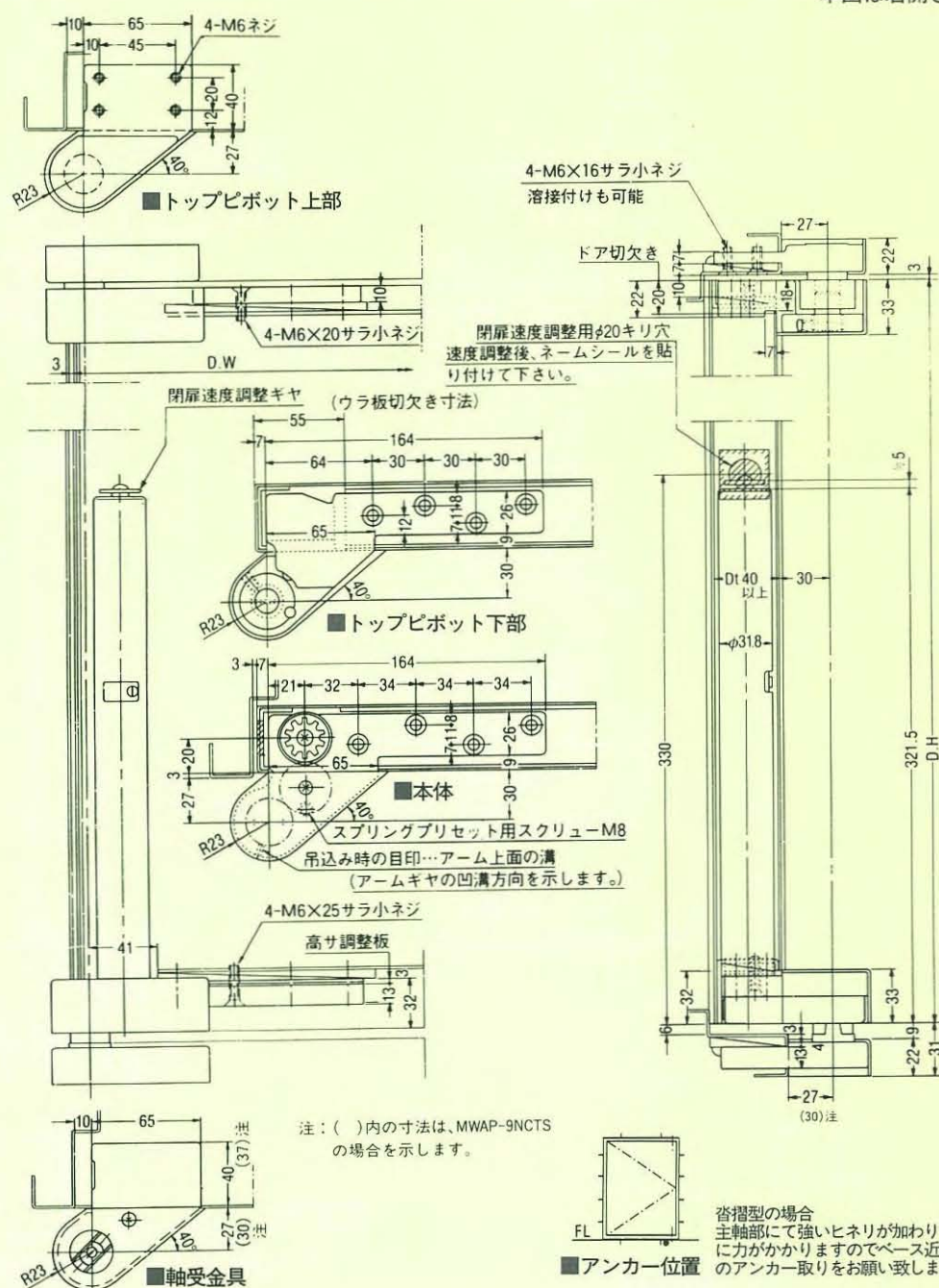
■持出吊/180°一方開

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9NCS MWAP-9NCTS	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	付

左開き(L) 右開き(R)

MWAP-9NCS/
MWAP-9NCTS

本図は右開きを示す



MWAP-9NDS 縦枠取付型

■持出吊/180°一方開

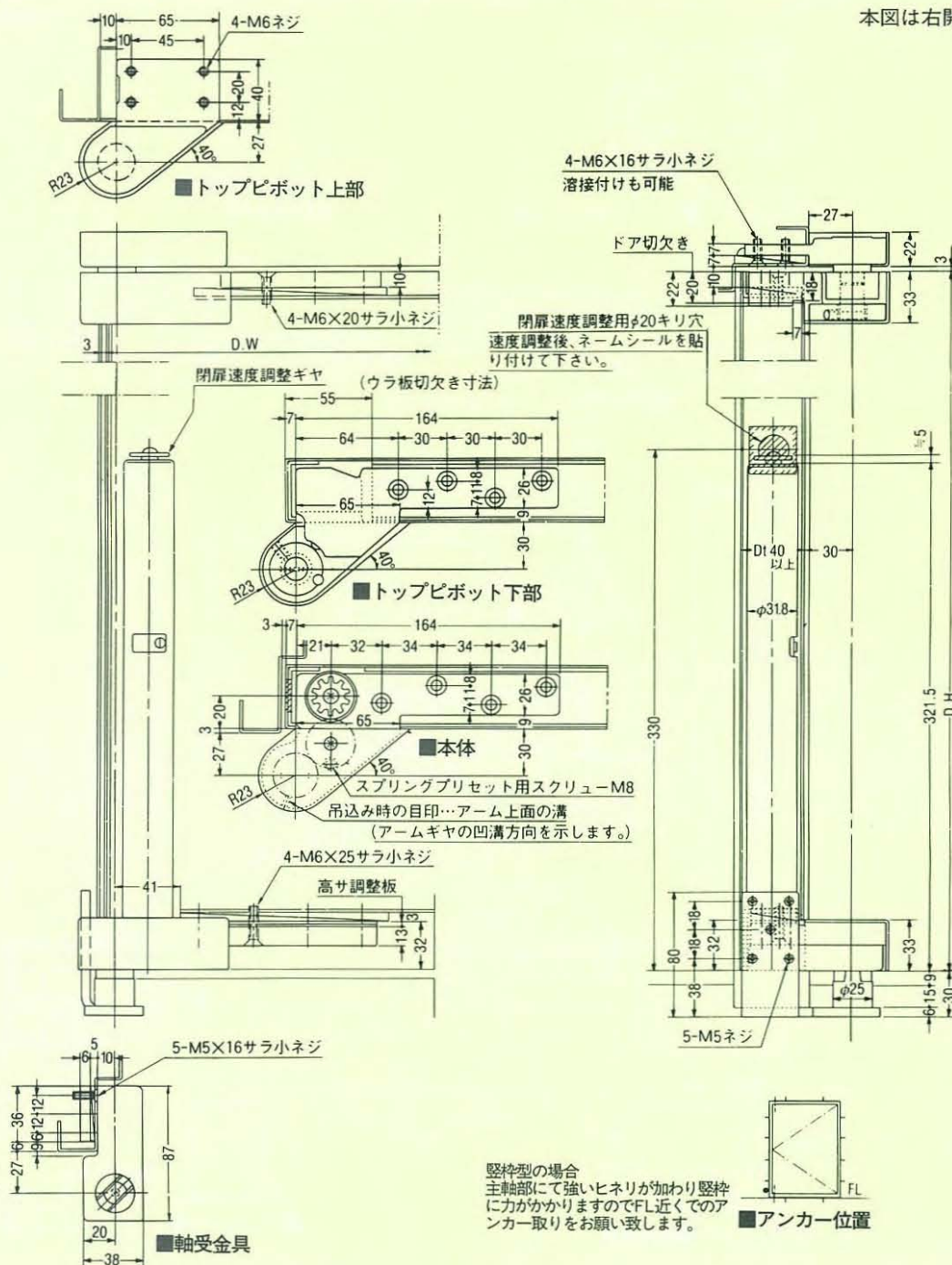
MWAP-9NDS

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9NDS	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	付

左開き(L) 右開き(R)

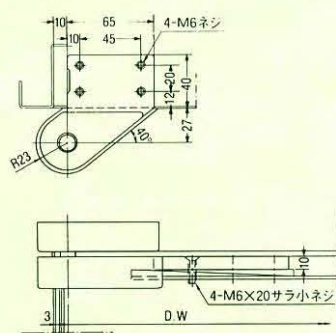


本図は右開きを示す

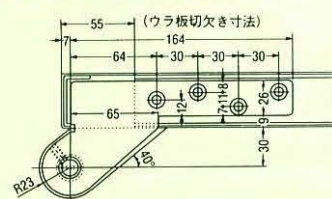


縦枠型の場合
主軸部にて強いヒネリが加わり縦枠
に力が掛かりますのでFL近くでのア
ンカー取りをお願い致します。

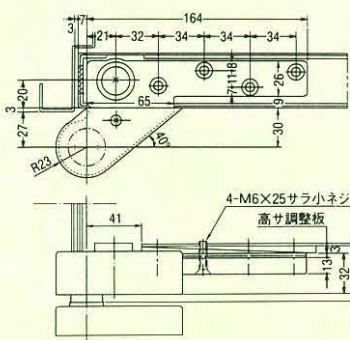
■トップピボット上部



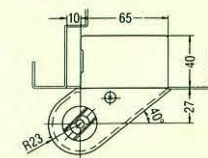
■トップピボット下部



■本体

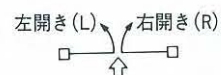


■軸受金具

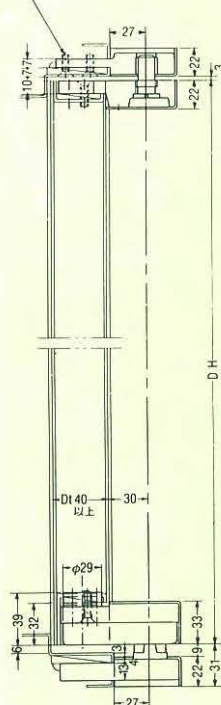


本図は、沓摺差込型を図示しております。縦枠埋込型、沓摺差込型下枠同面型、縦枠取付型の場合は前項図面を参照下さい。

本図は右開きを示す



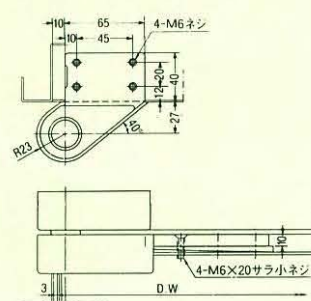
4-M6×16サラ小ネジ
溶接付けも可能



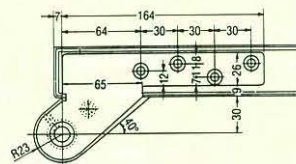
MES-5 通電用トップピボット上下部

(ストップ付の上下部には通電用仕様は出来ません)

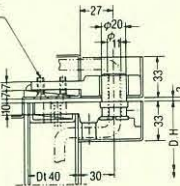
■トップピボット上部



■トップピボット下部



4-M6×16サラ小ネジ
溶接付けも可能



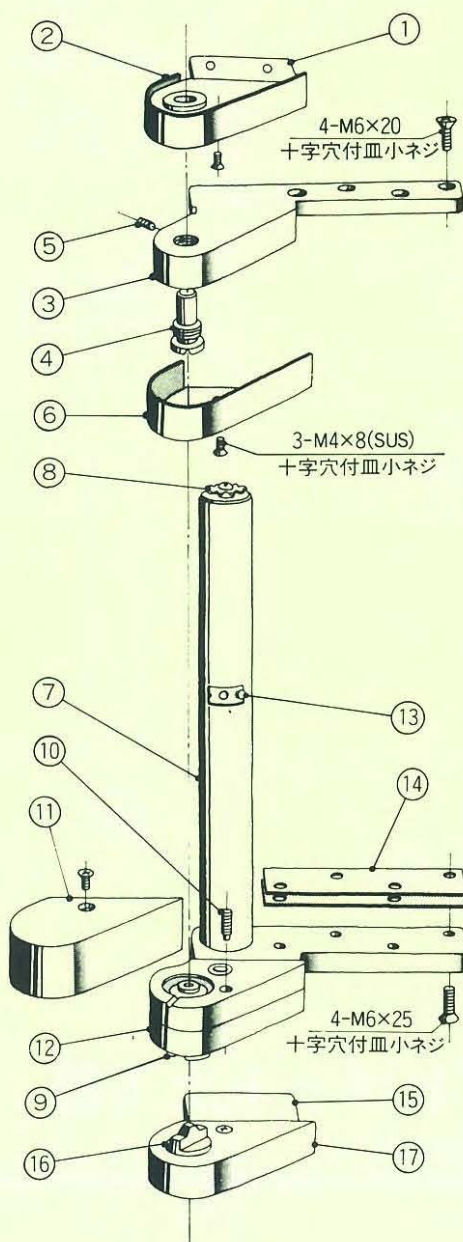
本図は右開きを示す



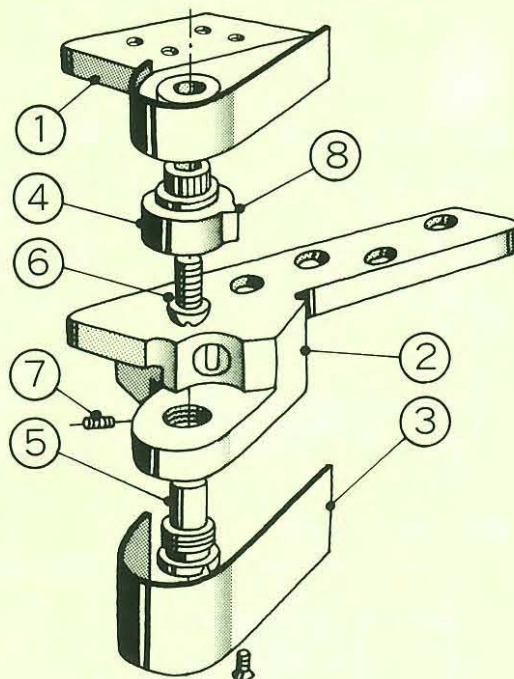
AUTO PIVOT MWAP-9N

■部品図(本図は右勝手を示します。)

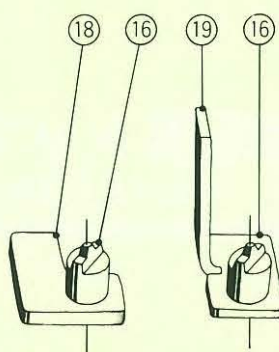
MWAP
-9N



ストップ装置の主要部品名



- ① トップピボット上部
- ② トップピボット下部
- ③ 下部カバー
- ④ カム軸
- ⑤ トップピボット
- ⑥ カム軸固定スクリュー(M8)
- ⑦ セットスクリュー(M6)
- ⑧ カム



- ① トップピボット上部
- ② 上部カバー
- ③ トップピボット下部
- ④ トップピボット
- ⑤ セットスクリュー
- ⑥ 下部カバー
- ⑦ 本体
- ⑧ 速度調整ギヤ
- ⑨ アームギヤ凹部
- ⑩ プリセットスクリュー
- ⑪ 本体カバー
- ⑫ アンダーカバー
- ⑬ セットピン
- ⑭ 高さ調整板
- ⑮ 軸受け金具(省摺取付型)
- ⑯ 軸
- ⑰ 軸座カバー
- ⑱ 軸受金具(縦杵埋込型)
- ⑲ 軸受金具(縦杵取付型)

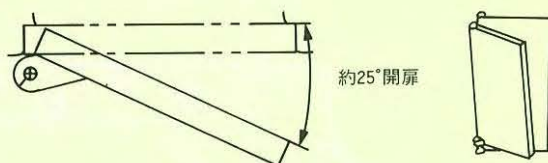
ドア吊り込み手順

- 1** 準備工具は、六角棒スパナ(二辺幅 4 mm)と、
+、- ドライバーをご用意ください。

- 2** カバー⑥⑪を取り外します。

- 3** セットスクリュー⑤を緩め、トップピボット
④を取り外します。

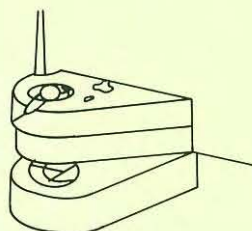
- 4** ドアを斜めに立てて、約25°開いた状態にしま
す。



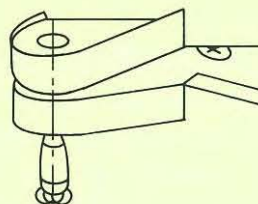
- 5** 軸の凸部⑬と、アームギア凹部⑨がかみ合う
よう、軸受金具⑮⑮⑮に本体⑦を差し込んで
ください。(軸の凸部方向は、本体上面の溝で
指示しています)

(注) ドアの取り外しは、吊り込み手順の逆の順序で行ってくだ
さい。

(注) 組合わせ後は、プリセットスクリュー⑩を緩めるまで、ドア
の開閉は絶対しないでください。



- 6** ドアを垂直状態に保って、トップピボット上
下部①③の軸心を合わせ、トップピボット④
をねじ込んでください。

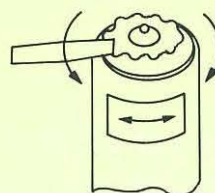


- 7** プリセットスクリュー⑩を本体上面まで緩め
ます。この時、ドアの開扉方向に力を加えな
がら行ってください。

- 8** ドアを約90°開き、セットスクリュー⑤を完全
に締め込んでください。

- 9** カバー⑥⑪を取り付けてください。

- 10** 閉扉スピードをチェックし、調整の必要時に
は速度調整ギア⑧で、減速位置を調整してく
ださい。



取付順序

1 準備工具

- + ドライバー (小・中)
- ドライバー (大・中)

2 ドア吊り込み手順 (図1、図2)

(ドア下側の吊り込み方法は、前頁のドア吊り込み手順をご参照ください。)

1. 吊り込み前に次の部品の分解を実施してください。
 - ③カバーの取り外し後、⑦セットスクリューを緩めます。
2. ⑤トップピボットを取り外します。
3. ドア下側の吊り込み準備完了後、扉を立てて吊り込みます。
4. トップピボット上、下部の軸心を合わせて⑤トップピボットを取り付けてください。
5. 本体(アーム部)のプリセットスクリューを取り外し、約90°ドアを開扉します。
6. ②トップピボット下部についている⑦セットスクリューを完全に締めてください。
7. ③下部カバー、本体カバーを取り付けて完了です。

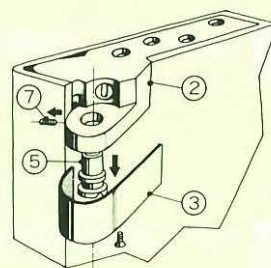


図 1

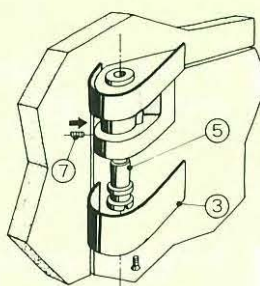


図 2

(注) トップピボット下部のキャップには触れないでください。

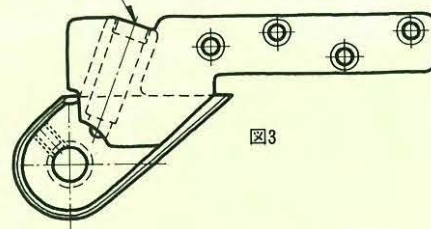


図3

3 ストップ角度の調整方法 (図4) (ストップ角度は約90°で出荷しています。)

1. トップピボット上部の⑥カム軸固定スクリューM8を外します。
2. ④カム軸を①より引き抜きます。このとき、カム軸のカム位置は、①のカバーに▽マーク(90°)で示してあります。
3. ④カム軸は▽マークを基準にして、希望ストップ角度位置に回して取り付けてください。(図5)

カム軸のセレーション部(刻み目)は1山約8°です。	
ストップ 角度	90°以上を設定の場合 (イ) 矢印方向へ回転
	90°以下を設定の場合 (ロ) 矢印方向へ回転

4. ⑥スクリューを完全に締めます。…調整は終了です。前頁のドア吊り込み手順にもとづいて吊り込みを実施してください。

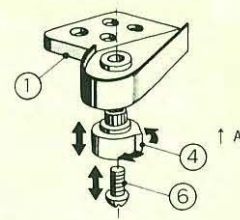


図4 本図は右勝手

4 ストップ無しにする方法 (図6)

1. 角度調整と同じ作業ですが、ストップ無しの場合、カム位置を(ハ)の位置にセットしてください。

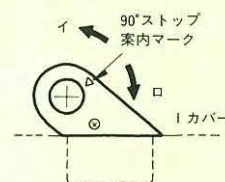


図 5 A 矢視図

5 注意事項

3. 4項の作業はドア吊り込み前の作業ですので、吊り込み後、角度調整が必要な場合はドアを取り外して行ってください。また、その時、本体のプリセットスクリューはセットしてください。

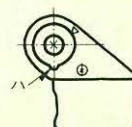


図 6

異常時の原因と対策

こんなとき	ここを見てください
ドアが閉じきらない	・ドアと枠が当たっていませんか。 ・風が強くありませんか。 ・アームギアと軸の凹凸が確実に入っていますか。 ・軸受金具が水平に取り付けられていますか。 ・軸の凸部の方向が違っていませんか。 ・スプリングの巻き込みをさわっていませんか。
ドアの閉じスピードが速い(遅い)	・速度調整ギアで、最適なスピードに調整してください。
ドアが開いていく	・風が強くありませんか。 ・スプリングの巻き込みをさわっていませんか。 ・(スプリングの巻き込み不足) (スプリングの逆巻き)
ドアの吊り込みができない	・上枠とドアのチリが少ない場合。 高さ調整板を取り外してください。

異常時の
原因と
対策

■取扱上の注意

- ・精密加工品ですから、落としたり、強く叩いたりしないでください。
- ・本体に、水や雨などをかけないようにしてください。
- ・トップピボット下部および本体は、溶接付けできません。
- ・オートピボットの閉扉速度より速く手で押さないでください。
- ・最大開扉角度以上、ドアを開かないでください。
- ・アームギアの凹部、軸の2面巾凸部を削ったり、衝撃荷重をかけないでください。
また、モルタル等の異物を付着させないでください。
- ・プリセットスクリューが締まった状態で、ドアの開閉は絶対にしないでください。
- ・ドア吊り込み完了まで、プリセットスクリューは緩めないでください。
- ・アンダーカバーを取り外したり、取り付けビスを緩めないでください。
- ・軸受金具は強固に固定し、また、水平に取り付けてください。
- ・注意書きのシール部には塗装しないようご注意ください。
- ・スプリングは工場で巻き込み済みです。セットピンにはさわらないでください。